

●みどりの芝生

思い 浮かべて ごらん どこまでも青い空
さわやかな 風に吹かれて 緑の芝生に 寝ころんで
草の 香りに 抱かれて 少しだけ眠りたい
ゆるやかに 流れる雲を 大きなあくびしながら
見ていたい

そばで 小さな 花が揺れてる
どこかで 小鳥の 声がある …ああ

いつのまにか 疲れてたみ・たい
近くばかりを 見てた の・かな

思い 浮かべて ごらん 見渡一す限りの海
水平線に たなびく雲を 夕陽が 染める 砂浜で
潮の 香りに 包まれ 白い船見つめながら
ひたす一らに寄せては返す 波の歌をぼんやりと
聞いてたい

ママの手離れて よちよち歩く
あどけない笑顔も 夕陽のなか…ああ

幼い日が ふいに よみが・える
母のぬくもり 恋しくなる

(間奏)

こころに ゆとりが ない今 なのに
こころに 隙間が あるのはなぜ

いつも何かに 追われ一てるようで
苛立つばかりで 優しく なれない…

思いのまま 生きられるなら
もっと 素直で いられるの にね

いつのまにか 大人になり 過ぎて
つくり 笑いに…… 疲れたの・かな

私 らしく 生きてゆきたい
本当の 自分に 帰り たい……